

## 企画展「プラネタリウムの歴史と大阪」開催中！

いま展示場4階にて、企画展「プラネタリウムの歴史と大阪」を開催中です！

近代的なプラネタリウムは100年前の1923年10月21日にドイツ博物館で試験公開、1925年には一般公開され、100年の歴史が始まりました。公開された世界初のプラネタリウム投影機は、ドイツのカール・ツァイス社が製作した「カールツァイスⅠ型」で、ドイツのミュンヘンから見た過去・現在・未来の星空を正確に再現できるシミュレータとして、多くの人を驚かせました(写真1)。

それから14年後、日本にもプラネタリウムがやってきます。実は日本で初めてプラネタリウムが登場したのが、ここ大阪です。1937年、当館の前身にあたる大阪市立電気科学館が開館し、日本最初のプラネタリウムが誕生したのです(写真2、3)。

本企画展では、誕生から現在まで発展を続けるプラネタリウムの歴史を概観するとともに、大阪に登場した日本初のプラネタリウムや電気科学館の活動、今に受け継がれた伝統を紹介しています。また、100周年の記念日となる10月21日には、プラネタリウムでの特別イベントも予定しています(※)。ぜひ企画展とともに、合わせてお楽しみください。



写真1. カールツァイスⅠ型  
©Deutsches Museum München



写真2.  
大阪市立電気科学館



写真3.  
カールツァイスⅡ型



写真4.  
天象館案内リーフレット



写真5.  
ツァイス星座絵投影機

(※)スペシャルナイト「プラネタリウム100周年記念イベント」については、科学館ホームページをご覧ください(<https://www.sci-museum.jp/event/#pl12750/>)。

西野 藍子(科学館学芸員)

学芸員の展示場ガイド

「学芸員の展示場ガイド」では、サイエンスガイドの方と色々な展示を動画で紹介しています。ホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください！